



市民活動の活性化を

— NPO法人基礎研修会12/2 —

NPO法人が現在、根室市内にないことを受けて、市民活動の活性化を目的に、根室市が主催する「NPO法人基礎研修会」が、北方四島交流センターで開催され、市民約30人が参加しました。

研修会は、北海道NPOサポートセンター理事の北村美恵子さんをはじめ3名の講師を招き、「NPO法人とは何か？」という素朴な疑問や、NPO法人を設立することでの利点や立ち上げについての基礎知識などが説明されました。

参加者は、真剣に講師の話に耳を傾け、熱心にメモを取る姿なども見られ、新たなNPO法人誕生への期待が寄せられていました。



浜の伝統の味に挑戦!

— 漬け物教室合同試食会12/8 —

根室おさかな普及委員会主催の「浜の母ちゃん直伝! 根室のおさかな漬け物教室」受講者を対象にした合同試食会が、商工会館で開かれました。

市内4漁協の女性部員が、講師を務めた漬け物教室では、「紅さけの飯寿司」「サンマの飯寿司」「マスのはさみ漬け」「こまいのきり漬け」と、4回にわたり開催され、全体で80人余りの市民が受講しました。

合同試食会では、各回で作られた漬け物のほか、漁協女性部が持ち寄った魚貝料理も並べられ、会場からは「とてもおいしい。上出来!」と、自分たちで漬けた根室伝統の「浜の味」を楽しみました。

ロケ地を味わい記念品をゲット

— ロケ地根室スタンプラリー抽選会12/13 —

ドラマ「南極大陸」の根室ロケセット展示会場で行われている「ロケ地根室スタンプラリー」の、第1回目の抽選会が市役所で行われました。

スタンプラリーは、道の駅スワン44ねむろのほか、市内3カ所の展不施設すべてを回って、スタンプを集め応募するもので、3月20日まで実施されています。

毎月5人の当選者が決定されますが、11月分は道内外から207人の応募があり、中林実行委員長が厳正な抽選を行い、当選者を決定しました。

当選者には、オランダせんべいや珍味、北の勝など、根室の特産品の詰め合わせが送られます。



日常の防火管理を

— 歳末防火特別警戒に伴う巡視12/15 —

歳末の繁忙期を迎え、火災発生 の未然防止と、発生時の被害を最小限にとどめることを目的に、12月15日から31日までの期間「歳末防火特別警戒」が実施され、その一環としてマルシェ・デ・キッチンほか、市内2つの施設で消防長巡視と文書による防火管理の指導が行われました。

「歳末を迎え、より一層の防火対策を心がけてほしい。」との呼びかけとともに、各施設に対して防火管理の徹底指導についての文書が加藤消防長から手渡された後、施設内を巡回しながら、防火設備の点検や避難経路の確認が行われました。



商品化に向け大きな一歩

— 給食用サンマ製品試食11/24 —

サンマが主原料の学校給食向けの新製品として完成したサンマフライ、サンマパテ、サンマコロッケの3種類の試作品が、定例記者懇談会の席上で披露されました。

製品開発は、根室市と東海大学海洋学部との相互協力協定に基づく産学官連携研究開発事業の一つで、東海大学から派遣された大学生の小平明寛さんと水産加工振興センターとの共同で、昨年からの開発が進められているものです。

提供された試作品は、サンマ独特の臭みも消え、材料費の低減と、おかずとしてだけでなく、パンにはさみ食べられるような工夫もされています。

今後は、給食への提供に向けての商品化の実現と、大量生産などを視野に入れた取り組みが進められていく予定です。



試作品を手にする小平明寛さん